

「光徳寺善隣館だより」—夏号—

発行人 社会福祉法人 光徳寺善隣館
理事長 佐伯 祐善

酷暑の候、皆さまいかがお過ごしでしょうか？
立秋とは名ばかりですが引続き「水分補給を忘れずに！」を合言葉に乗り切ってまいりましょう！！

中津学園新園舎での生活が始まっています！

令和7年4月に大正区の泉尾仮園舎から無事に引越しを終え、新生活にも少し慣れてきたかなと感じています。以前は、複数人でお部屋をシェアしていましたが、現在生活している子どもたちは全員個室になっています。個室では、互いに気を遣わずにプライベートな空間が保てますが、小さな子にとっては、少し寂しいのではないかと心配しましたが、いやいや、快適に自由な部屋を満喫し楽しんでいるようなので一安心しています。

＜お知らせ＞ こどもアートワークショップの開催について

令和7年10月25日（土）美術講師やクラウドファンディングで募りました参加者さん等をお迎えしてのワークショップの開催を予定しております。

地域の子どもたちと施設の子どもたちがふれあう場として定期的な開催を目指していますので、ご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。

「なかつマルシェ」について

～「新しい中津学園に、いらっしゃ～い！！」～

オープニングセレモニーは、11月23日（祝・日）を予定しています。

同日には、昨年11月1日～12月16日までの期間「洋画家佐伯祐三の生家で障がい児と地域のアート拠点とアーカイブギャラリーを作りたい」をテーマにクラウドファンディングに挑戦させていただいたところ、おかげさまでたくさんのご支援をいただくことができました。その中でイベントマルシェ参加型を希望された方もいらっしゃいますので、只今打ち合わせが始まっており着々と準備段階へと進めています。

また、まち歩きや新園舎見学会も開催しますので是非お越しください！

《イベントの見どころ・推しどころ》

当日は、屋台やゲームのほか、光徳寺善隣館100年史として、佐伯祐正が始めたセツルメントを30分にまとめた動画を放映させていただきます。

また、歴史的変遷に関するパネル展示や旧中津学園のアーカイブの作成として昔の光徳寺善隣館中津学園や建替え前の園舎の模型や図面の展示などもあります。

尚、令和7年8月までにホームページ、Facebook、インスタグラムで中津学園の紹介記事やイベント紹介等が開設予定となっております。

《祐三生誕顕彰碑についてのご報告》

大阪市により祐三生誕顕彰碑が境内の一角に建立されておりましたが、建替えに伴い全ての方々に見て頂けますよう、学園入り口に移設されましたので、是非ご覧ください。



「祐正の妻・千代子と石川啄木」

光徳寺は、浄土真宗本願寺派のお寺として四百有余年の寺であり、洋画家・佐伯祐三の生家でもあります。最近のアンケート調査によると50歳代以下の人には、佐伯祐三をよく知らないとの結果であったそうです。

同じように石川啄木も現在では、あまり教科書には載っていないらしく、載っていても熱心に啄木を語れる教師も少なくなったようです。昭和が終わる頃まで啄木愛好家も多く、全国各地に啄木研究会も存在していました。太平洋戦争の末期に特攻隊として飛び立った若い兵士達が、携えていたのが「啄木歌集一握の砂」であったという逸話が残されています。祐正の妻・千代子が、その啄木の愛好家であったということが、この度の善隣館の資料調査から判明しました。

発見！＜わが子の歴史＞

「わが子の成長記録」というアルバムを祐正の長女・光子の娘である多田真理さん（画家）が、保管されていたと実物の史料を拝見することができました。このアルバムの成立経緯や装丁は、今後の研究に委ねますが、祐正は、なぜ光子と名付けたかということ千代子は、出産した時の感懷を綴った自筆のエッセイを載せていました。



祐正直筆の「名をつけたわけ」



表紙「わが子の歴史」



千代子本人が「出産当時の母」として啄木の短歌を引用して綴った頁より

その親の親の
親にも似るなかれ
かく汝が父は
祈るぞ子よ。

啄木のこの歌がしみ
じみと思い出され
る。この歌を思うと
私も自分の気持ちが
みな出ている様に思
う。

父にもあらで汝が
母はかく祈る。自分
の今の気持ちにかへ
てこの歌を知るす。

光子よ強く／＼大
きくあれ身も心も。

（原文のママ）

千代子の手記

《史料情報の提供のお願い》

この度の園舎建替えにあたり光徳寺佐伯家の親類縁者、檀家の方々に戦前戦後の祐正と光徳寺善隣館に関する史料の情報を寄せて頂きたいとご依頼したところ、新史料（直筆の手紙・はがき・写真・メモ等）が、多数見つかりました。その中には、寄贈して頂いたものもあります。

今後は、社会福祉史研究家の先生方と研究会を立ち上げて収集・研究・保存の方法を検討して行くことになりました。皆様方の中で、些細なことでも結構ですので何か善隣館・祐正、祐三の情報をお持ちでしたらお知らせ頂けると幸いです。記録を取りに行かせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

光徳寺善隣館 史料室長：河崎 洋充